

第2回 横浜市川島町公園こどもログハウス指定管理者選定委員会 会議録	
開催日時	平成27年8月12日(水) 9時30分～11時15分
開催場所	保土ヶ谷区役所4階 401会議室
出席者	〈委員〉 伊藤委員長、遠藤委員、大久保委員、塩田委員、柳澤委員 (以上5名) 〈事務局〉 名木課長、高橋(勝)係長、川崎、高橋(友) (以上4名)
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者:なし) ※議題3以降非公開
議題	1 オリエンテーション 2 応募団体面接審査 (1) プレゼンテーション (2) 質疑応答 3 意見交換、評価シート記入 4 指定候補者の決定
議事	1 オリエンテーション 選定委員会の進め方、応募結果、評価・選定方法等について事務局より説明。 2 応募団体面接審査 (1) プレゼンテーション 応募団体によるプレゼンテーションを約20分実施。 (2) 質疑応答 委員からの質疑と応募団体による応答を約20分実施。 主な質疑応答の内容は以下のとおり。 ----- 委 員: イベント等の周知は具体的にどのように行っているのか。 応募団体: 学校や利用実績のある団体にはパンフレットを配布している。また、ホームページを活用しており、西谷地区社会福祉協議会と共催で子育てサロンを始めてからはアクセス数が増加した。こっころ(保土ヶ谷区地域子育て支援拠点)もログハウスのホームページを案内している。その他、広報よこはまの施設情報欄にも毎回掲載している。イベント等の参加者募集をすると、ほぼ毎回定員の人数が集まる。 委 員: 自転車で来館する利用者が多いと思うが、自転車利用者に対する配慮や安全指導の実施について考えているか。 応募団体: 法人単独で実施するのは難しい。区・警察・地域・PTAと協力し、次期の5年間で体制を作れるように努力したい。 委 員: 参加者は近隣の小学生に限られてしまい、今後、区全域に広げていけるようなアイデアはあるか。 応募団体: 平成26年度学校別利用者のデータを見ると、近隣4校以外の学校の利用者が44%。土日祝日のみでこれだけの数字なので、かなり多い。1年に1度でも利用してもらえるよう、学校・保土ヶ谷区子ども会育成連絡協議会・青少年指導員にも働きかけ、今後さらに増加させたい。

委員：一度に活動できる定員が 50 名程度とのことだが、利用者を伸ばす余地はあるのか。

応募団体：混雑する時間帯は大体決まっているので、利用者の少ない時間帯を活用した企画を考えることができる。

委員：地域によっては、ログハウスのことを知らない人もいる。そのような地域も、子ども会等に資料を配布してもらえれば、子どもたちをログハウスに連れて行くこともできるが、対応はできるか。

応募団体：声をかけてもらえれば、ぜひPR説明に行きたい。新入生の歓迎会などで希望に沿ったイベントを企画することもできる。

委員：財務諸表中「正味財産増減計算書」の「事務経費繰入金」、「事務経費繰出金」とは何か。

応募団体：法人として運営している 10 施設から、事務経費として法人本部に繰出をしてもらい、法人全体の運営に使っている。また、各施設への配布を行っている。これらの経費が、それぞれ「事務経費繰入金」、「事務経費繰出金」である。

委員：一般商務財産期首残高がマイナスになっているのはなぜか。

応募団体：平成 24 年度は一般社団法人へと移行した初年度だったため、この年度に限ってマイナスとなっている。

委員：平成 24 年度に関してのみ法人税が大きいのが、消費税が含まれているのか。

応募団体：平成 24 年度から公会堂の指定管理が始まり、年間約 6 千万円程度の増収(指定管理料)となったため、法人税額が上がった。消費税は含まれていない。

委員：受取寄付金とは何か。

応募団体：任意団体時代の財産をそのまま引き継いだものである。

3 意見交換、評価シート記入

(1) 応募団体の市税納付状況、暴力団経営支配法人等の該当の可否、現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。

(2) 応募団体の財務状況について、柳澤委員より説明。特に大きな問題はなく、5 年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。

(3) 提案内容について委員による意見交換を実施。

<主な意見>

- ・ログハウスはわかりにくい場所にあるため、駅からの道程に案内表示があると良い。
- ・地下迷路に幼児が入り込むと目が届きにくく、心配。敷地も広く、木が茂っているため、子どもから目を離すと迷子になる可能性がある。そのような周囲の状況に対する配慮があると良い。
- ・館内にアンケートの集計結果が貼ってあり、きちんとフィードバックされていた。一方で、アンケート結果からも、ログハウス自体を知らなかったという意見が目立ち、広報面に課題があると感じた。
- ・不便な場所にあるが、周囲に自然がたくさんあることを生かしたイベントの企画などを

	<p>考えてほしい。</p> <p>4 指定候補者の決定 各委員の評価点を集計した結果、525点満点中413点となり、最低基準点（300点）も満たしているため、<u>一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会を指定候補者として決定した。</u></p>
講 評	<p>多彩な自主事業を企画している点は評価できる。一方で、近隣以外の地域住民へ、具体的にどのような方法で広報をしていくのか、検討する必要がある。</p>
資 料 ・ 特記事項	<p>1 資料</p> <p>(1) 横浜市川島町公園こどもログハウス指定管理者選定委員会委員名簿</p> <p>(2) 席次表</p> <p>(3) 選定委員会の進め方等について</p> <p>(4) 応募団体提出書類</p> <p>(5) 評価シート</p> <p>(6) 現指定管理者運営実績資料</p> <p>(7) 財務状況説明資料</p> <p>2 特記事項</p> <p>選定結果については、保土ヶ谷区長に報告後、指定候補者に通知し、保土ヶ谷区ホームページで公表を行う。</p>